

(様式2) 平成27年度〔自己評価報告書〕

学校番号	5	学校名	川崎市立臨港中学校	校長名	藤澤朋二郎
------	---	-----	-----------	-----	-------

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ・自他を愛し、素直で誠意ある人の育成 ・責任感強く、たくましく勇気ある人の育成 ・礼儀正しく、質実清楚な人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を定着させるとともに、明るく生き生きとした学校づくり ・教科指導を充実し、「生きる力」を育む学校づくり ・道徳指導を充実し、お互いの個性を認め合う学校づくり ・家庭や地域から信頼される学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につける中で、自分の良さをみつけ、生活を向上させる力を育む ・互いの個性や特性を理解しあい、より良い人間関係を築いていく力を育む ・学習指導を充実させる中で、基礎・基本の定着を図り、「生きる力」を育む

評価項目	具体的な取組	実現状況(○)及び課題(▽)	具体的な改善策	
1	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 安全、安心な教育環境の提供 ・教育環境の充実 ・学習環境の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年とも約8割の生徒、保護者が「学校生活は楽しい」「臨港中に入学してよかった」と回答している。 ▽その評価が昨年度と比べると3ポイントほど低下している。 ▽学校の施設・設備面での満足度が4割程度にとどまっている。 ○ただ、学校が事故防止のため点検など配慮しているとの回答は6割以上あり、現状を理解してもらっている。 ○休日の授業参観、公開授業、学年ごとの授業参観など回数を多くしていることに6割の保護者が評価しており、参加者も増加している。 ▽ほとんどの教員が重点目標を意識して教育活動を行っているとは回答しているが、4割が惰性でやっていることが多いと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活全般について肯定的な回答が多かったが、減少していることをふまえ、より自尊感情、自己肯定感を高め、自信を持って行動できる生徒の育成を図りたい。 ・より開かれた学校にするため、いろいろな手段で情報発信を図っていききたい。 ・校舎の設備点検や修繕を定期的に行いたい。また、老朽化した教材教具の更新に努め、教育環境をより整えていききたい。 ・校務支援システムの研修会を開催して研修に努め、より効果的で円滑な運用を図りたい。 ・教職員間での問題はないものの、惰性でやっているとの回答が多いことを受け、教職員間のコミュニケーションを大切にし、信頼関係を強め、組織として連携して取り組んでいくようにしていきたい。 ・授業参観は本校にとって重要な意義があると考え、今後も回数を維持していきたい。
2	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上に向けた授業改善の充実 ・基本的な学習習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○8割の生徒が「授業はわかる」「しっかり聞き、考える」と回答している。わかりやすい授業の実践を心掛けてきた成果と思われる。先生が「意欲を持って授業に参加できるよう工夫している」の回答も6割をこえている。 ▽ただ、「学力が向上した」「公平に評価されている」の生徒の回答が4割程度と低くなっており昨年度よりも低下している。家庭学習の習慣を身につけさせるとともに、評価判定について職員の研鑽をつむことと、周知させる取り組みが必要である。保護者についても同様の回答が見られることから教育課程説明会での評価内容、資料、対象をより分かりやすく説明していききたい。 ○授業力向上のため、校内授業研究会を開催しているが、すべての職員が授業方法の工夫や改善に取り組んでいるとは回答している。今後も継続していききたい。 ○キャリア在り方生き方教育で指導主事を招き全体で研修会ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「その時間のねらいにどうせままれていたか」「生徒のころを揺さぶる発問」をテーマに校内授業研究を行いグループ協議で研修を深めたが、今後も継続して実施していききたい。 ・保護者との共通理解を図り家庭学習の習慣化に努めたい。 ・支援教育をさらに充実させ、入り込みの支援活動により基礎基本の定着を図るようにしていきたい。 ・「わかる授業」を今後も重点的に行うため指導内容、指導計画を検討していききたい。 ・適切な評価判定についての学校として統一されたものとするため、年度の初めにその研修会を開催し、信頼性・公平性のある評価判定の研究および推進に努めたい。 ・キャリア在り方生き方教育を意識した教科指導について研修を深めていききたい。 ・教科指導についての職員の意識は高いものがあるので、今後もその意識を高揚させたい。
3	道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全般を通じた豊かな心の育成 ・授業研究を通じた指導法の改善 ・授業時数の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度は「自己を愛し、他者を思いやれる生徒の育成」をテーマに6月、1、2年生で研究会長と指導主事を招き校内授業研究会を開催した。全職員でグループ研究協議を行い、研修を深めることができた。 ○授業前の学習会や、学年会で道徳資料の確認を行い、効果的に道徳の授業ができた。 ▽特別な教科「道徳」に向けた準備が思うように進まなかった。 ▽共生、共有プログラムの効果測定が計画通り進まなかった。 ○保護者の意見として「人権意識を育てている」「社会のルールを教育している」の回答が6割をこえている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の教科化に向け研修を深め人権尊重意識を高める工夫をしていきたい。特に道徳の時間の確保に努めたい。 ・共生、共有プログラムを計画的に5回実施し、効果測定を有効に活用していききたい。 ・「私たちの道徳」のより有効的な活用法を研修していききたい。 ・「いのちの授業」を今後も継続して実施し、人権尊重教育を推進していききたい。 ・月1回の学年会でその月の道徳の内容検討、進め方を確認して実践していききたい。 ・人権尊重教育の全体計画を見直したが、学校生活全般で人権意識を高めるような取り組みを実施していききたい。
4	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の個性を尊重し、自立を促す指導の工夫 ・生徒会活動の充実と、各種行事の活性化 ・互いに信頼し、協力し合える生徒集団の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○7～8割の生徒・保護者が「学校行事は楽しく充実している」と回答している。各種行事に満足している状況である。行事を通して協力し合える生徒集団の育成を図り、生徒・保護者ともに充実した活動と高い評価を得ている。 ▽ただ、2学年の生徒の割合が他学年に比べて低くなっており、中堅学年としての意識の高揚を図りたい。また、全体としても昨年度と比較すると5ポイントほど低下がみられる。 ▽1学年は7割以上だが2・3年生の「部活動が充実」についての回答は5割程度と低くなっている。また、保護者の回答も6割と低い。 ○生徒会本部、部活動生徒による自主的な朝清掃ボランティア活動が実施できた。 ▽1年生は7割をこえているが、2・3年生の「環境美化に積極的に取り組んでいる」の回答が5割と低い。奉仕の活動を自主的に推進できるような取り組みを実施していききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は特別活動の校内授業研究を実施するが、拡大要請訪問も行い、総合教育センターの指導・支援を受けていく。 ・生徒会本部や委員会活動を活性化し、できるだけ生徒が前面にたつて活躍できる場面をより設定していききたい。 ・生徒一人一人の個性を尊重し自立を促すよう、学校行事、生徒会活動をさらに充実させていききたい。 ・各集団でリーダー育成のためリーダー研修会を実施していききたい。また、若手職員も多ことから、総括教諭をリーダーとして研修や支援を行いたい。 ・自己肯定感を育むため、部活動を活性化する。とくに次年度より生徒増に対応して文化部、運動部を各1つ新設して、生徒の活動の場を確保していく。 ・校舎増築工事の本格化に伴い、校庭が狭くなる。活動場所の確保、安全対策などに配慮して生徒の活動にできるだけ障害とならないようにしていきたい。

5	<p>生徒指導</p> <p>基本的な生活習慣の確立と生徒理解の充実 ・挨拶や服装などの基本的な生活習慣の確立に向けた指導の徹底 ・相談活動の充実と生徒理解の充実</p>	<p>○年間3回の教育相談期間を設けて、生徒の状況把握に努めた。6割以上の保護者が「子供のことをよく理解している」と回答している。 ○「挨拶ができています」の回答は生徒、保護者ともに7割と高くなっている。「時間」「挨拶」「服装」「清掃」について、事あるごとに話してきた成果と思われる。 ▽「気軽に先生に相談できる」の回答が1・3年で45%、とくに2年生は25%と低い。教員も多忙化しているような教育課題に取り組む中なかなか寄り添った指導・支援が厳しい状況のみみられている。 ○他機関との連携を図り、情報交換などにより早期発見、対応、経過観察ができた。校外での生徒指導事案件数も減少してきている。 ▽「どの教師も同じ方針で生徒指導している」の回答が生徒、保護者ともに4割程度にとどまっている。教員間での共通理解をより図っていく必要がある。</p>	<p>・共通理解を図るため、年度初めに全職員により生徒指導方針を確認する。また、夏季研修でも生徒指導の情報交換、研修を実施する。 ・教育相談期間の設定は本校にとって重要な位置を占めている。今後も生徒がより多くの教員と気軽に相談できる環境づくりに努めたい。 ・今後の朝の打ち合わせ、職員会議、主任会で全職員共通に情報が共有できるようにするとともに、報告、連絡、相談を徹底したい。 ・他機関との連携は本校の状況から重要なポイントと思われる。今後も生徒指導担当を窓口に学年主任、総括教諭との連携を強化していきたい。 ・いじめ防止ガイドラインをもとに、いじめ防止基本方針の見直しを行うとともに、次年度に応じた策定をしていきたい。 ・部活動指導における健全な指導の在り方を顧問会が中心となり見つけなおす研修も必要と考える。体罰は絶対許されない指導体制を構築していく。</p>
6	<p>特別支援教育</p> <p>特別支援教育の推進 ・特別な支援を必要とする生徒一人一人の教育的ニーズに応えたきめ細かな教育の実践</p>	<p>○特別支援教育推進モデル校として3年間の研究をすすめてきたが、職員の意識も高まった。とくに毎月の職員会議の中で、特別支援COからの情報提供や研修報告により全職員の共通認識が図れた。 ○相談指導学級(情緒級)の運営がきめ細かくできた。 ○個別にケース会議なども実施し、生徒理解に努めた。 ▽家庭環境などもあり、なかなか不登校生徒の減少には結びつかなかった。 ○通常学級に在籍している支援を必要としている生徒に対して、可能な限り支援をすることができた。</p>	<p>・通常級に在籍しているものの、学習面や生活面で特別な支援、配慮が必要となる生徒への対応について校内組織、支援体制、相談体制の整備を進め、組織的に取り組むと同時に関係他機関との連携に努めたい。 ・臨床発達心理士やスクールカウンセラーなどにより発達障害などの校内職員研修を行い理解を深めたい。 ・保護者への説明と相談活動が円滑に行えるよう努めたい。 ・特別支援教育推進委員会の取り組みの活性化を促すとともに、毎週1回の特別支援支援CO、生徒指導担当、養護教諭、スクールカウンセラーによる情報交換会を定例化していきたい。</p>
7	<p>健康安全管理</p> <p>生徒の健康、安全を守る教職員の意識を高め、事故の防止に努める ・緊急対応マニュアルを作成し、危機管理意識を高める</p>	<p>○薬物乱用防止教室、熱中症予防講演会など実施した。警察や校医さんとの連携も深めることができた。また、性に関する講演会も保健福祉センターの協力で実施できた。 また、給食開始に備えて食物アレルギー対応について緊急時の適切な処置の研修を実施した。 ○防災教育研究推進校の指定を受け新しい防災教育の取り組みを行うことができた。 避難訓練、防災訓練も年間3回実施した。 ○定期的な安全点検活動を実施できた。 ○校舎の老朽化に伴い修繕が必要なところを迅速に対応して安全確保に努めた。 ▽まだまだ、大規模な修繕や修理が必要な箇所がある。環境整備推進室と連絡を取り合って計画的に進めたい。 ○学校保健委員会を開催し、校医、PTA、生徒代表、保健指導部職員で協議し学校の現状把握に努めた。</p>	<p>・校医さんとの連携を深め、連絡を密にして学校生活の健康安全管理に努めたい。 ・各箇所の管理責任を明確にして、点検活動を定期化し、安全管理に努めたい。 ・地震や津波に対する避難方法の指導、防災面での地域での中学生の役割などについても研修を深め、防災意識を高めていきたい。 ・他機関と連携し、講師を招いて各種の健康面での講演会を計画していきたい。 ・全職員が誰でもAEDの使用ができ、心肺蘇生法を習得するとともに、給食開始に伴うアレルギーの緊急対応ができるよう、研修を深めたい。 ・学校保健委員会での生徒の発表を生かし、研究協議を深め、生徒の健康面での状況把握に活用していきたい。</p>
8	<p>保護者・地域との連携</p> <p>生徒の健全育成に向けた連携 ・教育活動全般にわたる支援とPTA会員相互の理解の伸張 ・地域教育会議との連携 ・小中連携教育の推進</p>	<p>○ほとんどの職員がPTAの行事や地域教育会議主催の行事などに積極的に参加し、相互理解に努めた。 ▽職員にはかなりボランティアでの参加として負担をかけている面がある。 ○学級懇談会や三者面談の機会を通じて生徒の現状、学校の現状などを積極的に発信できた。 ○小中連携事業を推進し、教職員の合同研修会も開催するなど相互理解を深めることができた。特に今年度は全職員で給食の開始に備えて小学校で給食指導の体験的研修を行うことができて非常に効果的であった。 ○地域教育会議の主催による夏の体験学習事業は本校にとって非常に有意義な取り組みと考える。 ▽地域意識が薄くなってきている現状のみみられる。今後の対応を探っていく必要性を感じる。</p>	<p>・今後も開かれた学校づくりを促進するため地域やPTAとの良い協力関係をさらに深めていきたい。 ・学校たよりの定期的な発行で積極的に情報提供していきたい。またその配布先もより広められるよう検討したい。 ・職員の負担増に注意しながら、地域教育会議とより連携を深め夏の体験学習だけでなく年間の各種取り組みに協力していきたい。 ・学校教育推進会議をより活用しつつ、学校評価アンケートの項目を検討し、学校運営の活性化に結びつけたい。 ・小中連携をさらに推進し、児童生徒理解につなげたい。 ・平成29年度の創立70周年記念行事と新校舎の内覧会の準備を地域やPTAの協力を得ながら計画的に推進していきたい。</p>
学校関係者の評価		今年度のまとめ・次年度へ向けての取組	

<p>学校教育推進会議が3月22日開催</p> <p>①地域教育会議事務局長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の体験学習活動を始め、各種の取り組みに中学生が参加、手伝いで多く参加してもらっている。また、職員の多くの参加にも感謝している。 ・中学生が地域でどのような貢献ができるのか、また地域が中学生に何ができるのか、これからも地域と学校が連携して一諸に考えていきたい。 <p>②町会長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域から見ると全体的に生徒の問題行動が減ってきており落ち着いた印象がある。是非継続した指導をお願いしたい。 ・地域に対し学校の抱える課題をもっと発信してほしい。できるだけ地域としても協力したい。 <p>③PTA会長より</p> <p>生徒の活動に対してPTAとして手助けしていきたい。</p> <p>.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も学校教育のあるべき姿をしっかり見定めて、家庭と地域との十分な連携・協力のもとに、学校運営を推進していきたい。 ・次年度も、いじめや体罰のない学校を目指し、「笑顔あふれる学校」の精神と「時間」「服装」「挨拶」+「掃除」の3+1を生徒に浸透するようにしていきたい。 ・教育活動は生徒と教職員のふれあいに基づき、相互の信頼関係の上に進められていることを意識し、次年度もコミュニケーションを大切に、寄り添いながら支援・指導していきたい。 ・今まで通り学習指導と生徒指導を大切にしてい。基本的な生活習慣や家庭学習については、学校と家庭が一体となって取り組まなければならない問題ではあるが、保護者の方々に具体的な取組を提案していきたい。 ・保護者からのアンケートでは学習面への期待の声が強く感じられる。「分かる授業」をキーワードとし、基礎学力が不足している生徒への指導のあり方、学習の躓きの原因分析など分かりやすい授業づくりに取り組んでいきたい。 ・特別支援教育の校内体制をさらに充実させたい。特別支援モデル校としての配置は終了するが、次年度まで非常勤講師の加配がされることから、そのノウハウについて研修を深めていきたい。 ・田島支援学校・児童養護施設との円滑な連携とともに、2小学校とのつながりをさらに推進していきたい。 ・全国学力・学習状況調査の結果を丁寧に分析し、基礎学力の充実、自尊感情・規範意識の向上に努めていきたい。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------